

インターネットアンケート調査

報告書

【平成 24 年3月実施】

平成 24 年3月

四街道市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の項目	2
4. 回収状況	2
5. 報告書を読む際の注意事項	2
II. 調査の結果	3
1. 基本属性	3
(1) 年齢	3
(2) 性別	3
(3) 居住地	4
(4) 家族構成	4
(5) 世帯主の職業	4
(6) 持ち家購入の場合の住宅の種類	5
2. 四街道市に対する認知度	6
(1) 四街道市を知っている度合い	6
(2) 四街道市について知っていること	7
(3) 四街道市への来訪経験の有無	8
(4) 四街道市への来訪目的	9
(5) 四街道市に対するイメージ	10
3. 持ち家を購入する場合に重視する点	11
(1) 現在居住する市区町村外に持ち家を購入する場合に重視する点	11
(2) 持ち家を購入する場合の意向（新築、中古等）	12
(3) 通勤・通学時間の許容範囲	13
(4) 四街道市への居住希望	14
(5) 定住促進に向けたまちづくりのあり方	15
(6) 持ち家を購入する場合の参考情報の取得先	17

I. 調査の概要

1. 調査の目的

市外に居住するファミリー世帯（夫婦のみ+夫婦と子どもからなる世帯）を対象に、四街道市のイメージのほか、市内への定住（移住）を促進するために高めるべき機能等を把握し、今後、新たな定住人口の獲得に向けた施策を検討する際の基礎資料として活用することを目的としています。

2. 調査の方法

表 調査の方法

調査方法	インターネットリサーチ会社によるモニター調査とする。
調査対象	以下の条件を全て満たす20代～40代の男女 ・東京都23区内、千葉県その他市に居住 ・賃貸住宅に居住 ・夫婦のみの世帯、夫婦と子どもからなる世帯
標本抽出	「今後、持ち家（戸建て又はマンション）を購入し、現在居住する市区町村外へ転居する意向の有無」をスクリーニング調査し、両者の条件を満たす者のみを対象サンプルとして抽出
調査期間	平成24年3月15日～18日

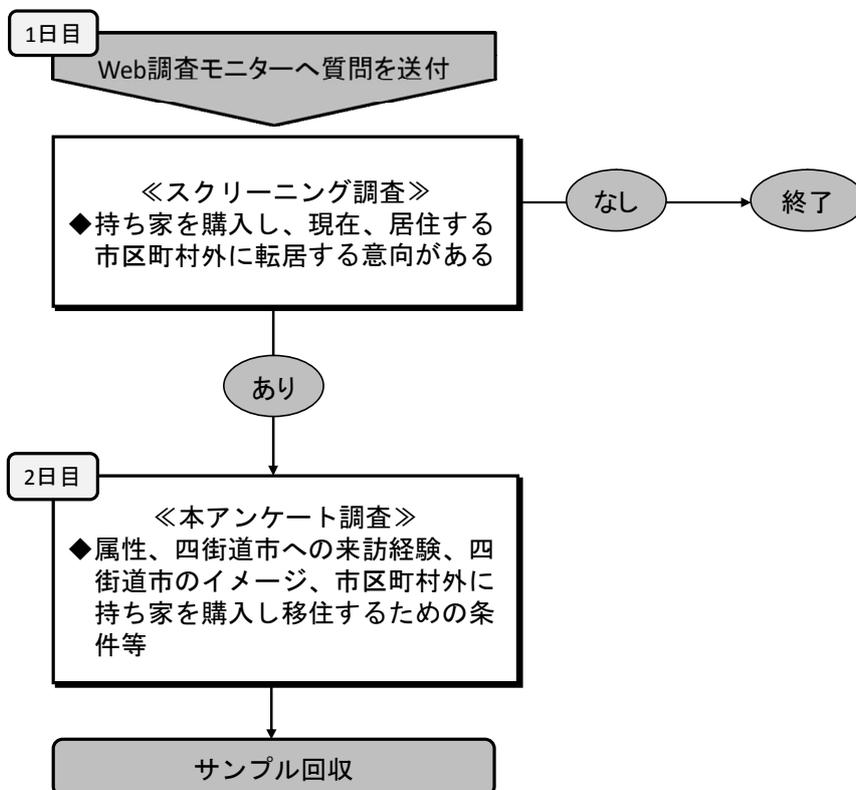


図 調査の実施フロー

3. 調査の項目

表 調査の項目

大項目	具体的な質問項目
1. 基本属性	(1) 年齢
	(2) 性別
	(3) 居住地
	(4) 家族構成
	(5) 世帯主の職業
	(6) 持ち家購入の場合の住宅の種類
2. 四街道市に対する認知度	(1) 四街道市を知っている度合い
	(2) 四街道市について知っていること
	(3) 四街道市への来訪経験の有無
	(4) 四街道市への来訪目的
	(5) 四街道市に対するイメージ
3. 持ち家を購入する場合に重視する点	(1) 現在居住する市区町村外に持ち家を購入する場合に重視する点
	(2) 持ち家を購入する場合の意向（新築、中古等）
	(3) 通勤・通学時間の許容範囲
	(4) 四街道市への居住希望
	(5) 定住促進に向けたまちづくりのあり方
	(6) 持ち家を購入する場合の参考情報の取得先
	(7) すでに住みたいと考えている市区町村

4. 回収状況

(1) スクリーニング調査

「東京都 23 区内、千葉県
他市に居住」「賃貸住宅に居住」
「夫婦のみの世帯、夫婦と子
どもからなる世帯」という条
件を全て満たす 20 代～40 代
の男女 6,500 人に対して、「今
後、持ち家（戸建て又はマン
ション）を購入し、現在居住
する市区町村外へ転居する意
向の有無」をスクリーニング
調査した結果、1,613 人、24.8%の対象者から「意向がある」との回答を得ました。

表 スクリーニング調査の結果（単位：人）

回答者の属性		合計	持ち家を購入し、現在住んでいる市区町村外に転出する意向がある	持ち家は購入したいが、現在住んでいる市区町村外に転出する意向はない	持ち家を購入する意向はない
合計	計	6,500	1,613	1,761	3,126
	20代	770	249	230	291
	30代	3,047	843	847	1,357
	40代	2,683	521	684	1,478
男性	計	2,399	613	655	1,131
	20代	118	39	35	44
	30代	1,003	293	298	412
	40代	1,278	281	322	675
女性	計	4,101	1,000	1,106	1,995
	20代	652	210	195	247
	30代	2,044	550	549	945
	40代	1,405	240	362	803

(2) 本調査

実際に本調査によって得られた回答数は 632、このうち、有効回答数は 605 となっています。

5. 報告書を読む際の注意事項

図中の比率（%）は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、率の合計値が 100%にならない場合があります。また、複数回答は、回答者数を母数とし、比率を算出しているため、率の合計値は 100%になりません。

Ⅱ. 調査の結果

1. 基本属性

(1) 年齢

○最も回答が多かったのは「30歳代」の53.6%であり、以下、「40歳代」の35.5%、「20歳代」の10.9%の順となっています。

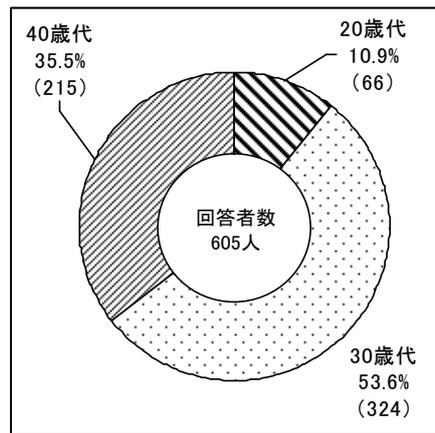


図 回答者の年齢

(2) 性別

○「女性」が58.3%で過半を超えており、「男性」は41.7%となっています。

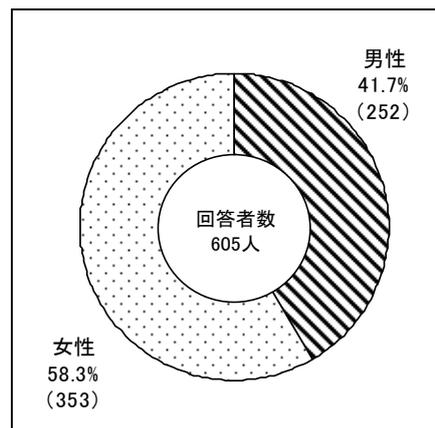


図 回答者の性別

(3) 居住地

○「東京都」が68.8%、「千葉県」が31.2%となっています。また、市区別にみると、「練馬区」が7.3%で最も多く、次いで「世田谷区」の6.1%、「杉並区」の5.8%の順となっています。

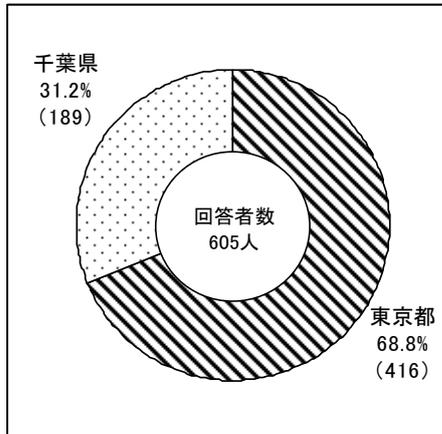


図 回答者の居住地

表 居住地の上位10市区
(回答者ベース)

順位	市区町名	実数 (人)	比率 (%)
1	練馬区	44	7.3
2	世田谷区	37	6.1
3	杉並区	35	5.8
4	江戸川区	33	5.5
5	足立区	32	5.3
6	船橋市	29	4.8
7	大田区	27	4.5
8	市川市	26	4.3
9	新宿区	25	4.1
10	葛飾区	20	3.3

(4) 家族構成 (複数回答)

○同居している家族の構成で、回答者の半数以上が「夫婦＋子」となっています。

表 同居家族の構成 (n=605)

	回答 (件)
夫婦	605
子	313
親	4
祖父母	0
兄弟・姉妹	0
その他	0

(5) 世帯主の職業

○「正規雇用者」が81.3%を占めており、以下、「自営業」の8.9%、「非正規雇用者」の7.3%、「その他」の2.5%の順となっています。

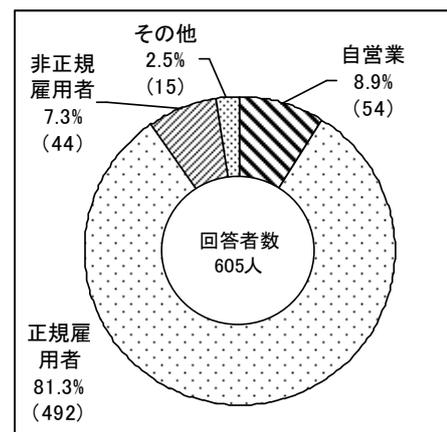


図 世帯主の職業

(6) 持ち家購入の場合の住宅の種類

○持ち家を購入する場合、どのような種類の住宅を想定しているのかでは、「マンション等」が59.5%、「戸建て住宅」が40.5%となっています。年齢別にみると、「戸建て住宅」では20歳代、「マンション等」では30歳代がそれぞれ42.4%、60.5%で最も多くなっています。

○居住地別にみると、「戸建て住宅」では千葉県が49.2%、「マンション等」では東京都が63.5%で最も多くなっています。

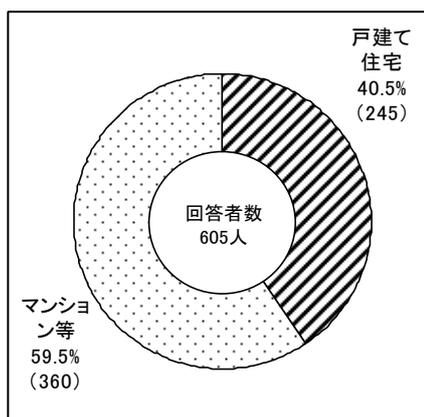


図 持ち家購入の場合の住宅の種類

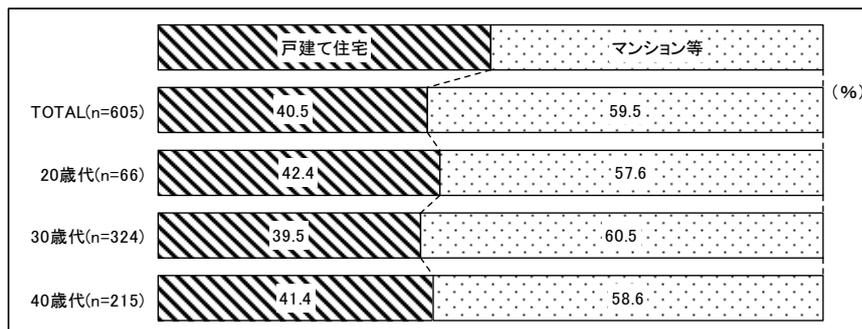


図 【年齢別】持ち家購入の場合の住宅の種類

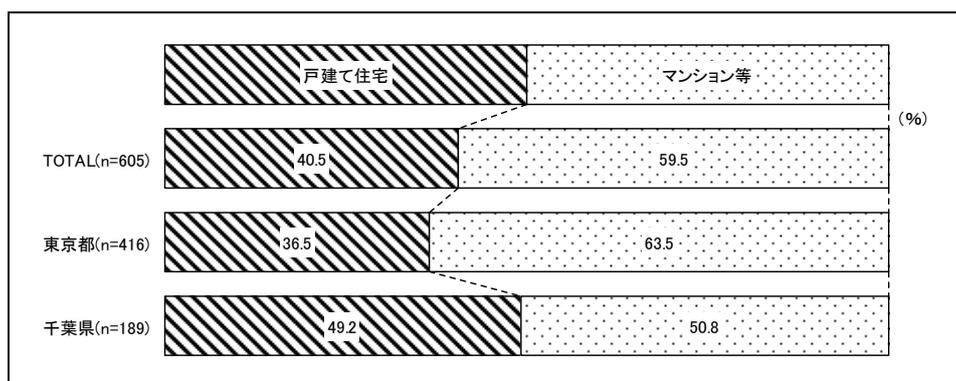


図 【居住地別】持ち家購入の場合の住宅の種類

2. 四街道市に対する認知度

(1) 四街道市を知っている度合い

○四街道市をどの程度知っているかについて、「あまり知らない」が45.5%で最も多く、「よく知っている」は3.8%、「ある程度知っている」は17.5%となっています。

○年齢別にみると、40歳代では「ある程度知っている」が20.0%を占め、他の年代に比べ回答が多くなっています。

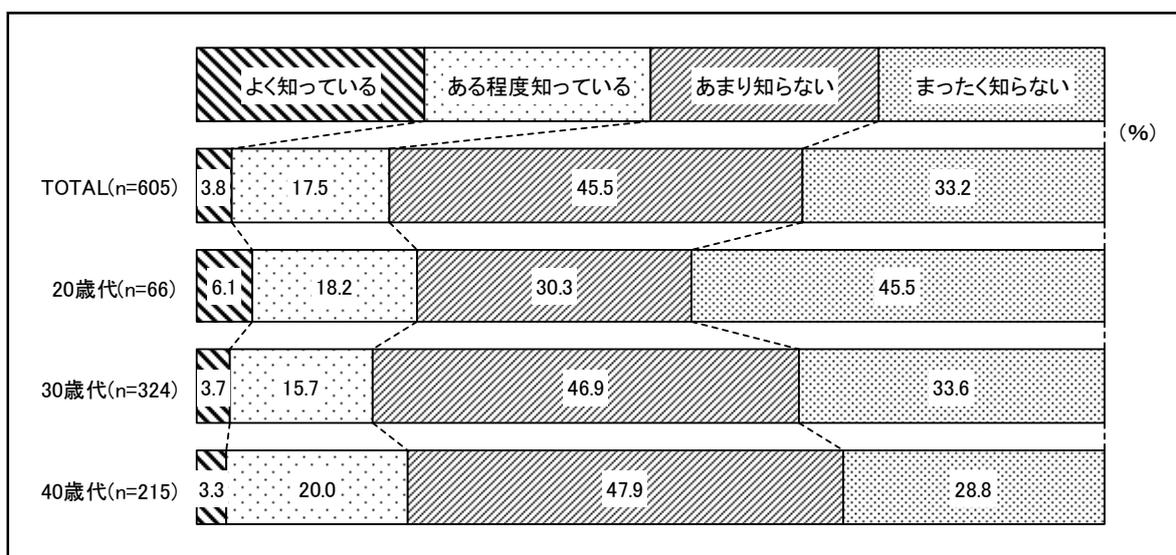


図 【年齢別】四街道市を知っている度合い

○居住地別にみると、千葉県では「ある程度知っている」が26.5%で約4分の1強となっている一方、「あまり知らない」が50.8%で過半を占めているのが目立ちます。

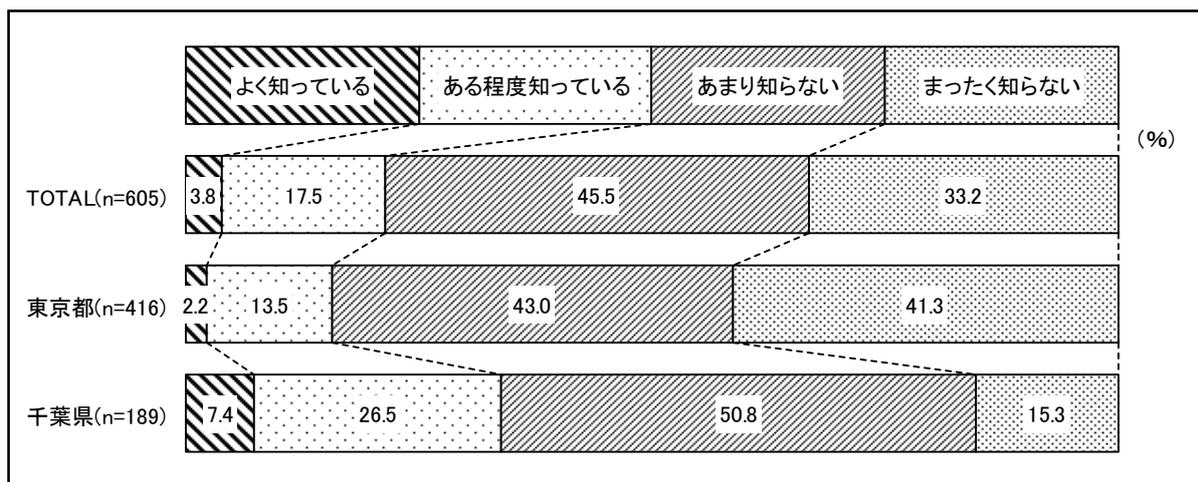


図 【居住地別】四街道市を知っている度合い

(2) 四街道市について知っていること（複数回答）

○四街道市について知っていることでは、「どれも知らなかった」を除くと、「千葉市の隣」が25.6%で最も多くなっており、それ以外はいずれも3%以下となっています。

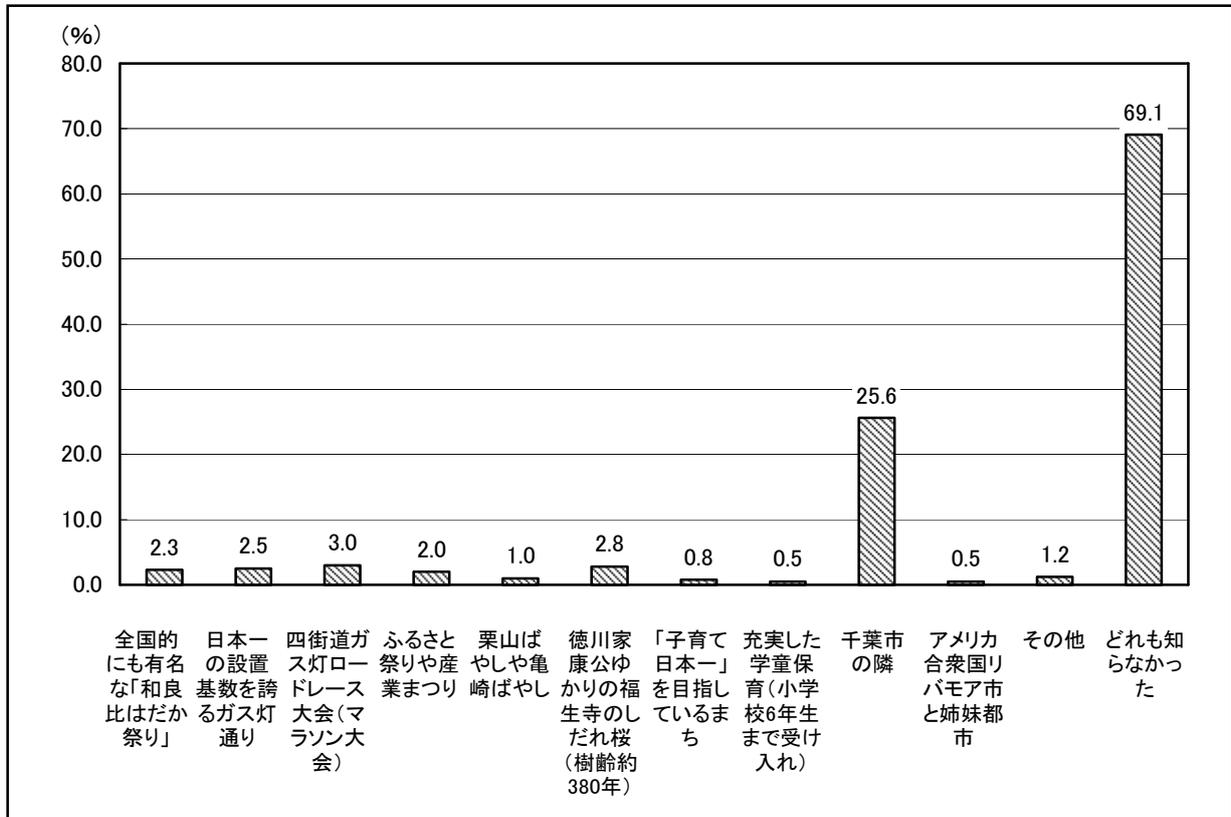


図 四街道市について知っていること (n=605)

表 四街道市について知っていること

	回答(件)
全国的にも有名な「和良比はだか祭り」	14
日本一の設置基数を誇るガス灯通り	15
四街道ガス灯ロードレース大会(マラソン大会)	18
ふるさと祭りや産業まつり	12
栗山ばやしや亀崎ばやし	6
徳川家康公ゆかりの福生寺のしだれ桜(樹齢約380年)	17
「子育て日本一」を目指しているまち	5
充実した学童保育(小学校6年生まで受け入れ)	3
千葉市の隣	155
アメリカ合衆国リバモア市と姉妹都市	3
その他	7
どれも知らなかった	418
合計	673

(3) 四街道市への来訪経験の有無

○四街道市への来訪経験の有無では、「行ったことがある」は22.8%となっています。年齢別にみると、「行ったことがある」は40歳代が29.3%で最も多くなっています。

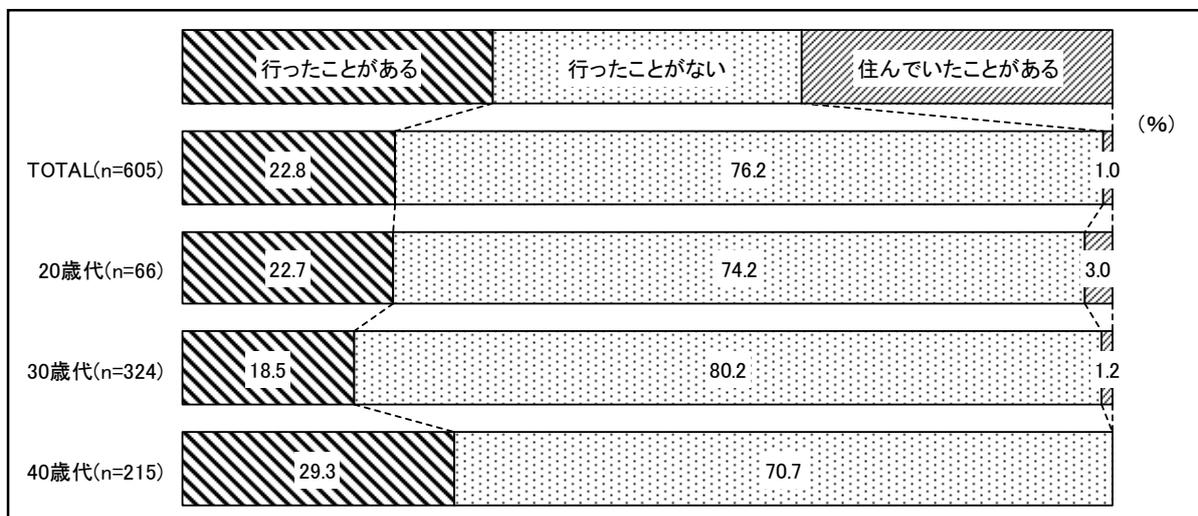


図 【年齢別】四街道市への来訪経験の有無

○居住地別にみると、千葉県では「行ったことがある」が41.3%、東京都では「行ったことがない」が84.6%となっています。

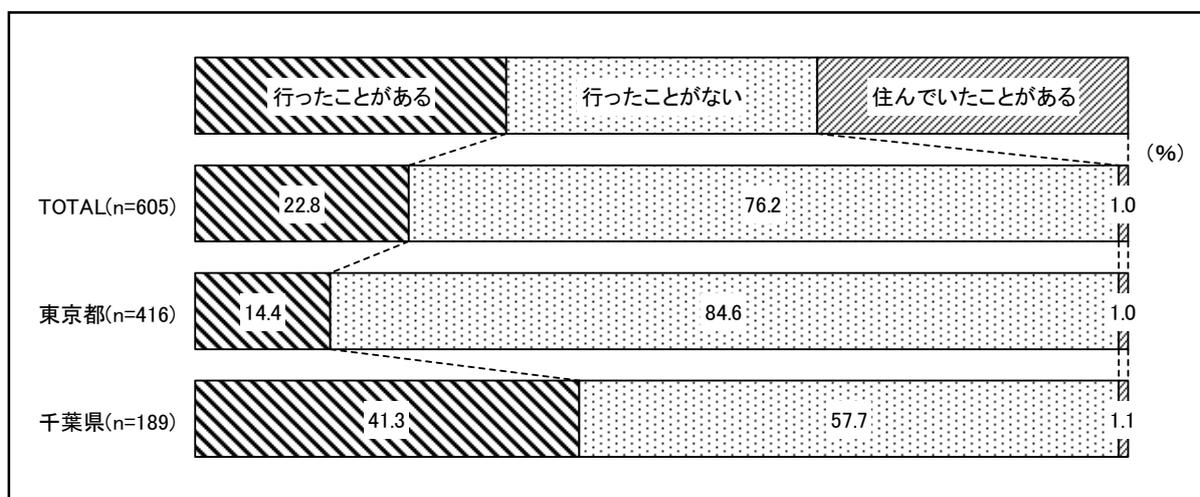


図 【居住地別】四街道市への来訪経験の有無

(4) 四街道市への来訪目的 (複数回答)

○四街道市への来訪目的では、「無回答」を含まない場合、「友人・知人・親族を訪問」が41.3%で最も多く、次いで「観光・スポーツ・レジャー」の29.7%、「買い物」の20.3%の順となっています。

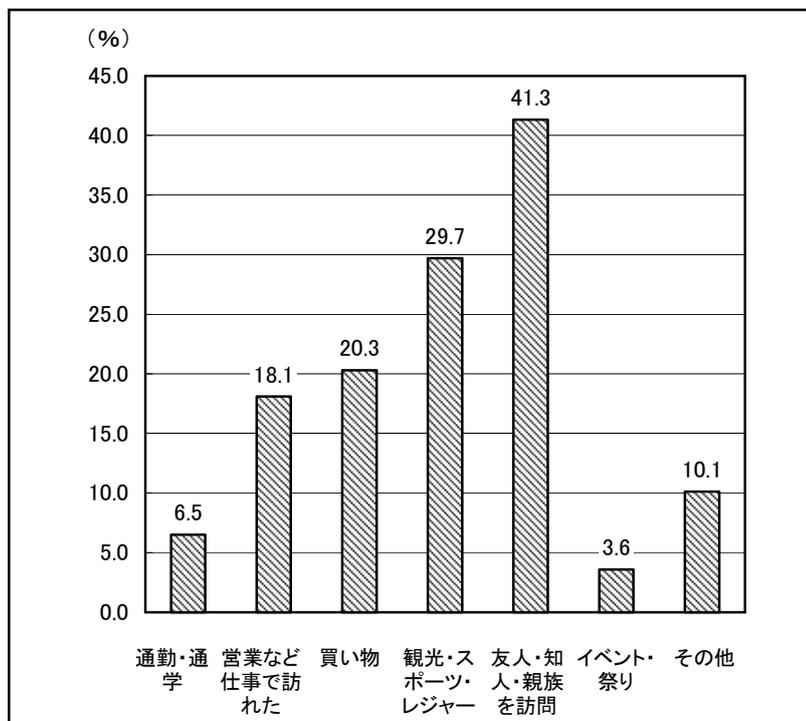


図 四街道市への来訪目的 (n=138)
(無回答を除く)

表 四街道市への来訪目的
(無回答を除く)

	回答 (件)
通勤・通学	9
営業など仕事で訪れた	25
買い物	28
観光・スポーツ・レジャー	41
友人・知人・親族を訪問	57
イベント・祭り	5
その他	14
合計	179

(5) 四街道市に対するイメージ（複数回答）

○四街道市に対するイメージでは、「東京都心部や千葉市のベッドタウン」が41.7%で最も多く、次いで「水と緑の豊かな自然に恵まれたまち」の39.7%、「子育て・教育環境が整ったまち」の20.5%の順となっています。

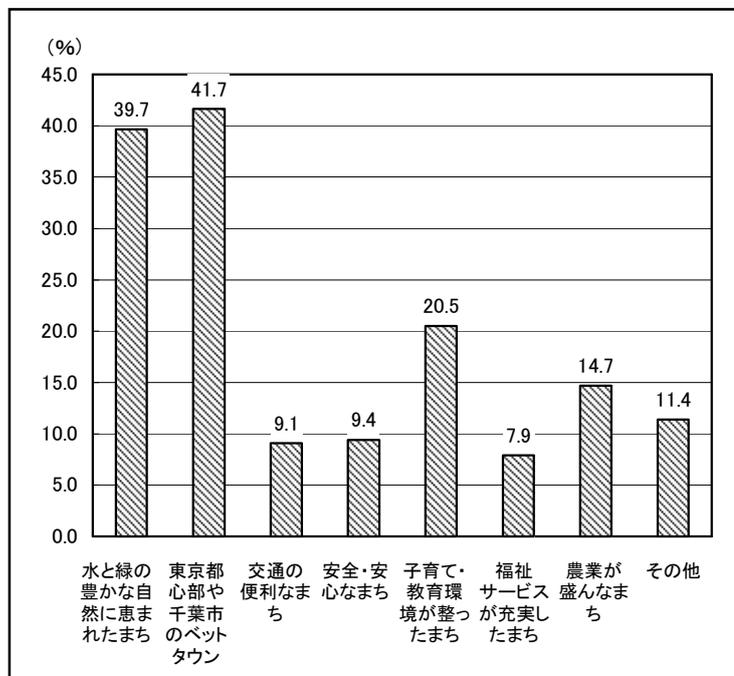


表 四街道市に対するイメージ

	回答 (件)
水と緑の豊かな自然に恵まれたまち	240
東京都心部や千葉市のベッドタウン	252
交通の便利なまち	55
安全・安心なまち	57
子育て・教育環境が整ったまち	124
福祉サービスが充実したまち	48
農業が盛んなまち	89
その他	69
合計	934

図 四街道市に対するイメージ (n=605)

3. 持ち家を購入する場合に重視する点

(1) 現在居住する市区町村外に持ち家を購入する場合に重視する点（複数回答）

○市区町村外に持ち家を購入し、定住すると想定した場合に重視する点について、最も多かったのは、「買い物の便利さ」の70.2%、以下、「通勤・通学の便利さ」の64.8%、「公共交通の便利さ（鉄道、バス）」の53.7%の順となっており、日々の暮らしにおける利便性の高さを上げる回答が多くなっています。

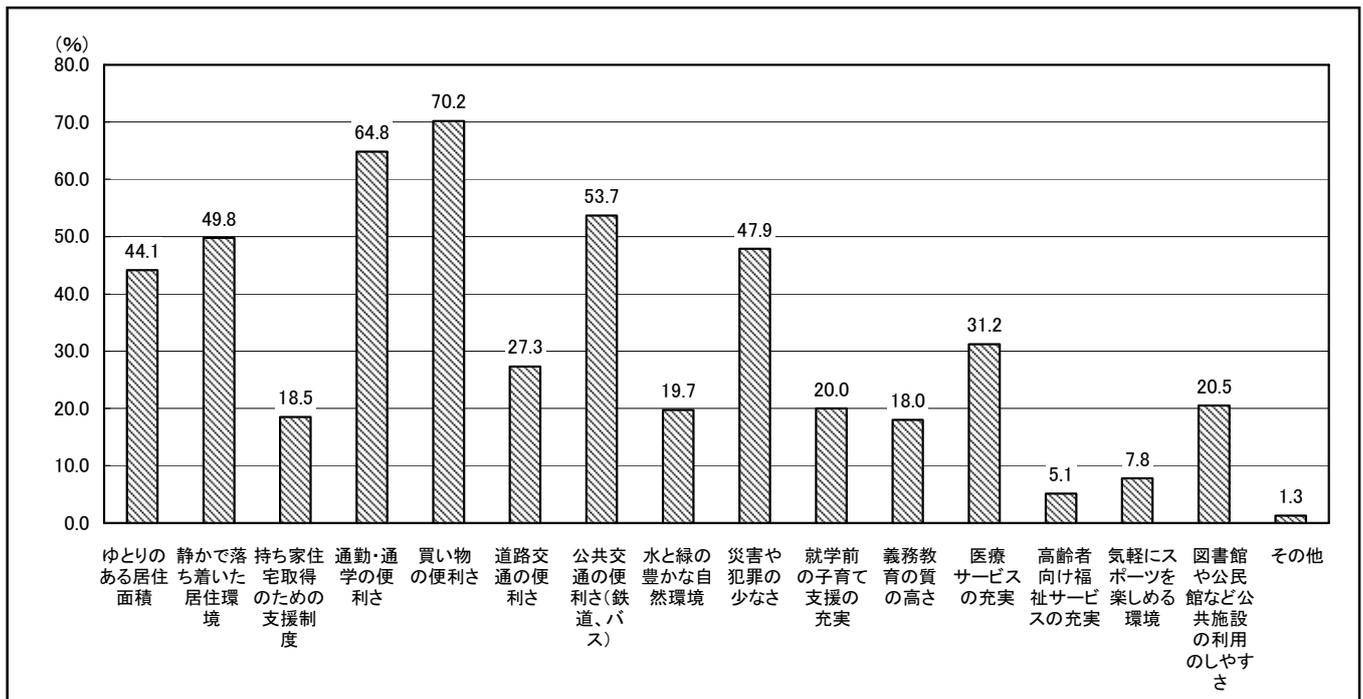


図 持ち家を購入する場合に重視する点 (n=605)

○年齢別にみると、20歳代では「ゆとりのある居住面積」「就学前の子育て支援の充実」、30歳代では「通勤・通学の便利さ」、40歳代では「気軽にスポーツを楽しめる環境」「図書館や公民館など公共施設の利用のしやすさ」の回答比率が他の年代に比べ高くなっています。

表 【年齢別】持ち家を購入する場合に重視する点

	合計(人)	比率(%)															
		ゆとりのある居住面積	静かで落ち着いた居住環境	持ち家住宅取得のための支援制度	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	道路交通の便利さ	公共交通の便利さ(鉄道、バス)	水と緑の豊かな自然環境	災害や犯罪の少なさ	就学前の子育て支援の充実	義務教育の質の高さ	医療サービスの充実	高齢者向け福祉サービスの充実	気軽にスポーツを楽しめる環境	図書館や公民館など公共施設の利用のしやすさ	その他
20歳代	66	56.1	54.5	13.6	63.6	68.2	25.8	40.9	13.6	50.0	36.4	16.7	36.4	6.1	4.5	13.6	0.0
30歳代	324	42.0	50.0	19.8	70.4	70.1	25.9	54.3	20.4	45.7	22.5	22.2	27.5	3.1	5.9	18.8	1.5
40歳代	215	43.7	47.9	18.1	56.7	71.2	29.8	56.7	20.5	50.7	11.2	12.1	35.3	7.9	11.6	25.1	1.4
合計	605	44.1	49.8	18.5	64.8	70.2	27.3	53.7	19.7	47.9	20.0	18.0	31.2	5.1	7.8	20.5	1.3

○居住地別にみると、東京都では「買い物の便利さ」が68.5%で最も多く、次いで「通勤・通学の便利さ」の63.5%、「公共交通の便利さ（鉄道、バス）」の56.3%の順となっています。一方、千葉県でも第1・2位は同様の傾向となっていますが、第3位は「静かで落ち着いた居住環境」となっています。

表 【居住地別】持ち家を購入する場合に重視する点

	合計 (人)	比率(%)															
		ゆとりのある居住面積	静かで落ち着いた居住環境	持ち家住宅取得のための支援制度	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	道路交通の便利さ	公共交通の便利さ(鉄道、バス)	水と緑の豊かな自然環境	災害や犯罪の少なさ	就学前の子育て支援の充実	義務教育の質の高さ	医療サービスの充実	高齢者向け福祉サービスの充実	気軽にスポーツを楽しめる環境	図書館や公民館など公共施設の利用のしやすさ	その他
東京都	416	44.2	48.6	20.0	63.5	68.5	26.4	56.3	19.2	47.8	20.2	18.8	29.6	6.3	7.9	21.6	1.2
千葉県	189	43.9	52.4	15.3	67.7	74.1	29.1	48.1	20.6	48.1	19.6	16.4	34.9	2.6	7.4	18.0	1.6
合計	605	44.1	49.8	18.5	64.8	70.2	27.3	53.7	19.7	47.9	20.0	18.0	31.2	5.1	7.8	20.5	1.3

(2) 持ち家を購入する場合の意向（新築、中古等）

○持ち家を購入する場合に新築住宅のほか、中古住宅なども検討するかについて、「どちらも検討している」が42.1%で最も多く、「新築住宅のみ検討している」が32.4%でこれに次いでいます。年齢別にみると、20歳代では「どちらも検討している」と「新築住宅のみ検討している」が同率となっています。

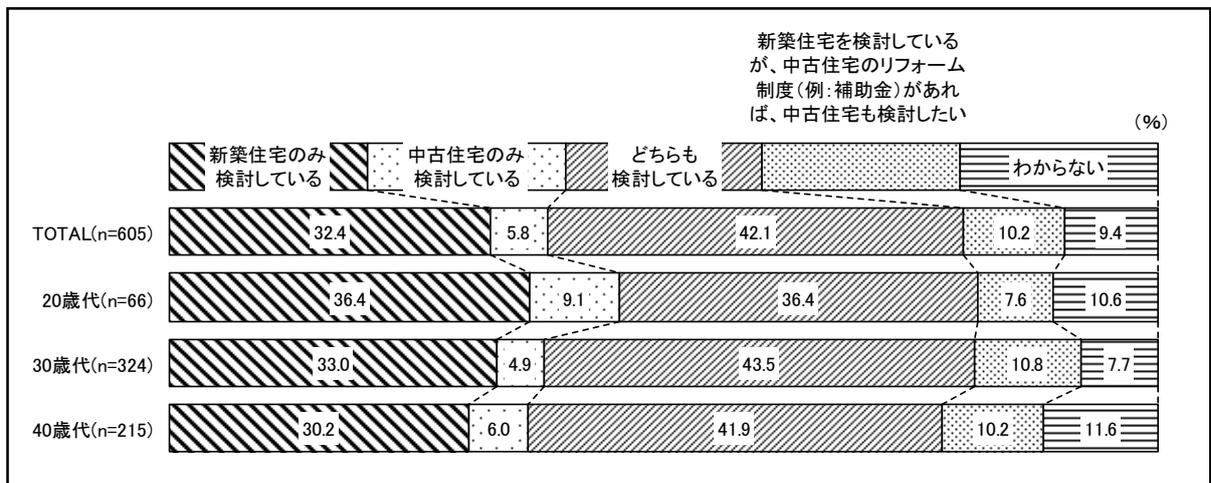


図 【年齢別】持ち家を購入する場合の意向（新築、中古等）

○居住地別にみると、東京都では「どちらも検討している」が44.0%、千葉県では「新築住宅のみ検討している」が41.3%で最も多くなっているのが特徴的といえます。

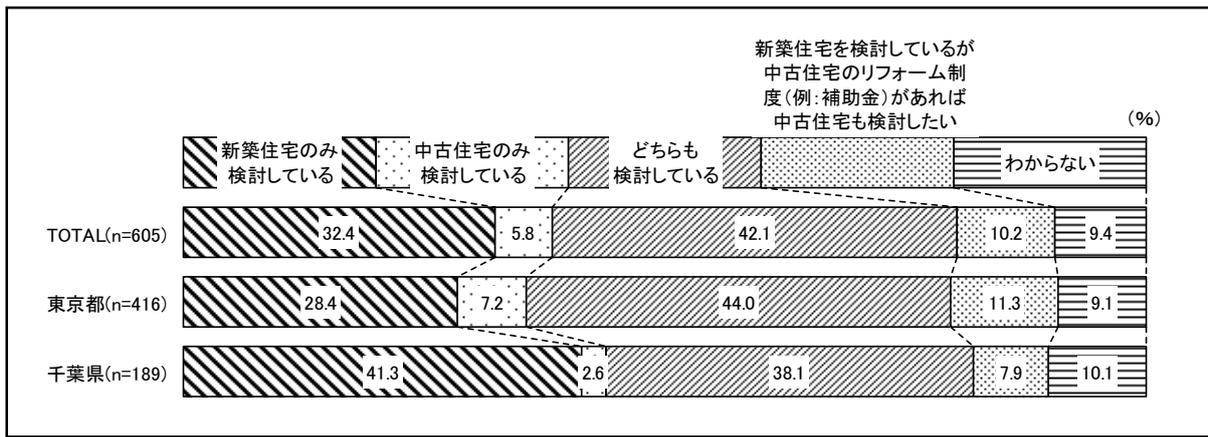


図 【居住地別】持ち家を購入する場合の意向（新築、中古等）

(3) 通勤・通学時間の許容範囲

○通勤・通学時間の許容範囲については、「1時間まで」が63.8%で突出して多くなっています。年齢別にも同様の傾向となっていますが、20歳代のみ「30分まで」が20%を超えています。

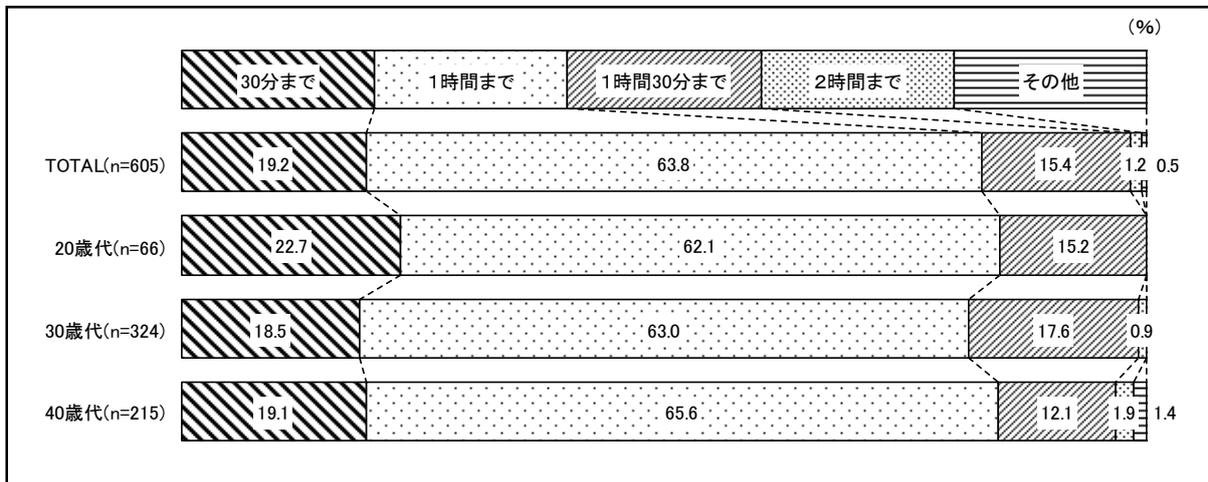


図 【年齢別】通勤・通学時間の許容範囲

○居住地別にみても、最も回答が多かったのは「1時間まで」となっていますが、東京都では「30分まで」、千葉県では「1時間30分まで」がともに20%を超えているのが比較的目標立ちます。

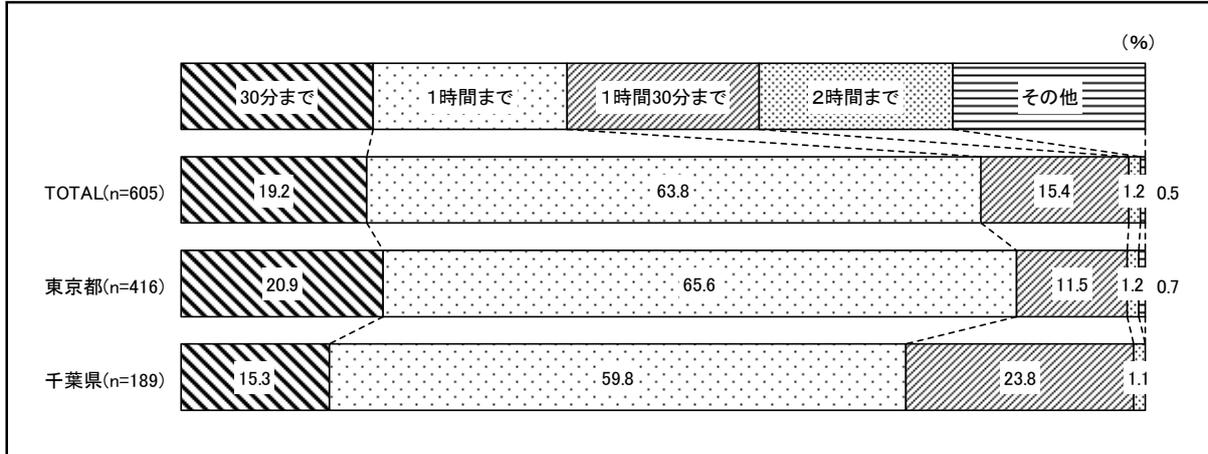


図 【居住地別】通勤・通学時間の許容範囲

(4) 四街道市への居住希望

○四街道市への居住希望では、「あまり住みたいと思わない」と「住みたくない」を合わせた「住みたくない」が67.5%となっており、「居住地の1つとして検討してみたい」は21.5%、「適当な価格と広さの住宅があれば住んでみたい」は10.9%となっています。

○年齢別にみると、「居住地の1つとして検討してみたい」は、20・30歳代で20%を超えているほか、「適当な価格と広さの住宅があれば住んでみたい」は、20歳代が19.7%で最も多くなっています。

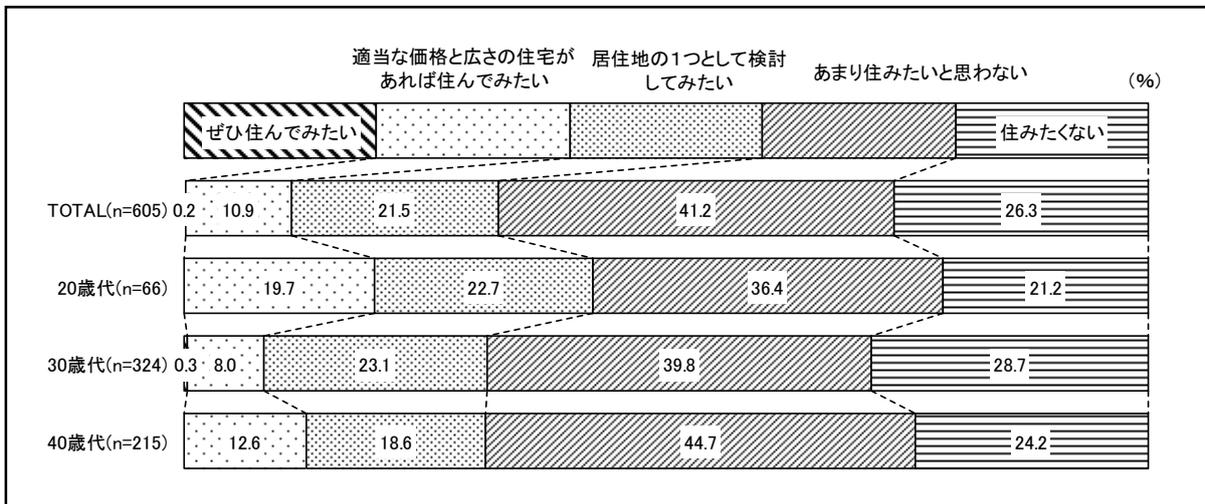


図 【年齢別】四街道市への居住希望

○居住地別にみると、東京都・千葉県ともに「居住地の1つとして検討してみたい」は20%を超えているほか、千葉県では「適当な価格と広さの住宅があれば住んでみたい」が14.8%となっているのが比較的目的立ちます。

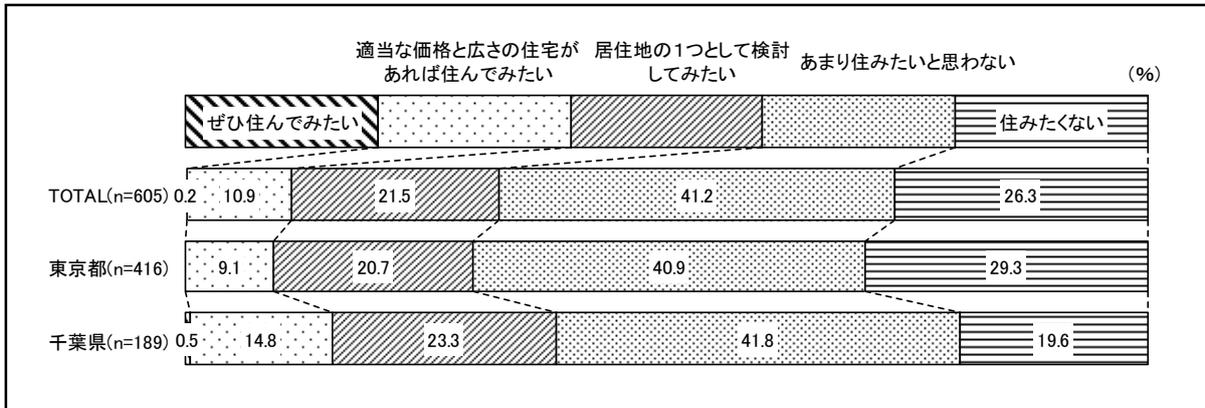


図 【居住地別】四街道市への居住希望

(5) 定住促進に向けたまちづくりのあり方（複数回答）

○市区町村が定住を促進するためには、どのようなまちにすべきかについて、最も回答が多かったのは「子どもを安心して育てられるまち（子育て支援）」の56.0%であり、次いで「災害に強く犯罪のないまち（防災・防犯）」の37.2%、「便利で安全・安心に移動できるまち（幹線道路・公共交通）」の34.2%の順となっています。

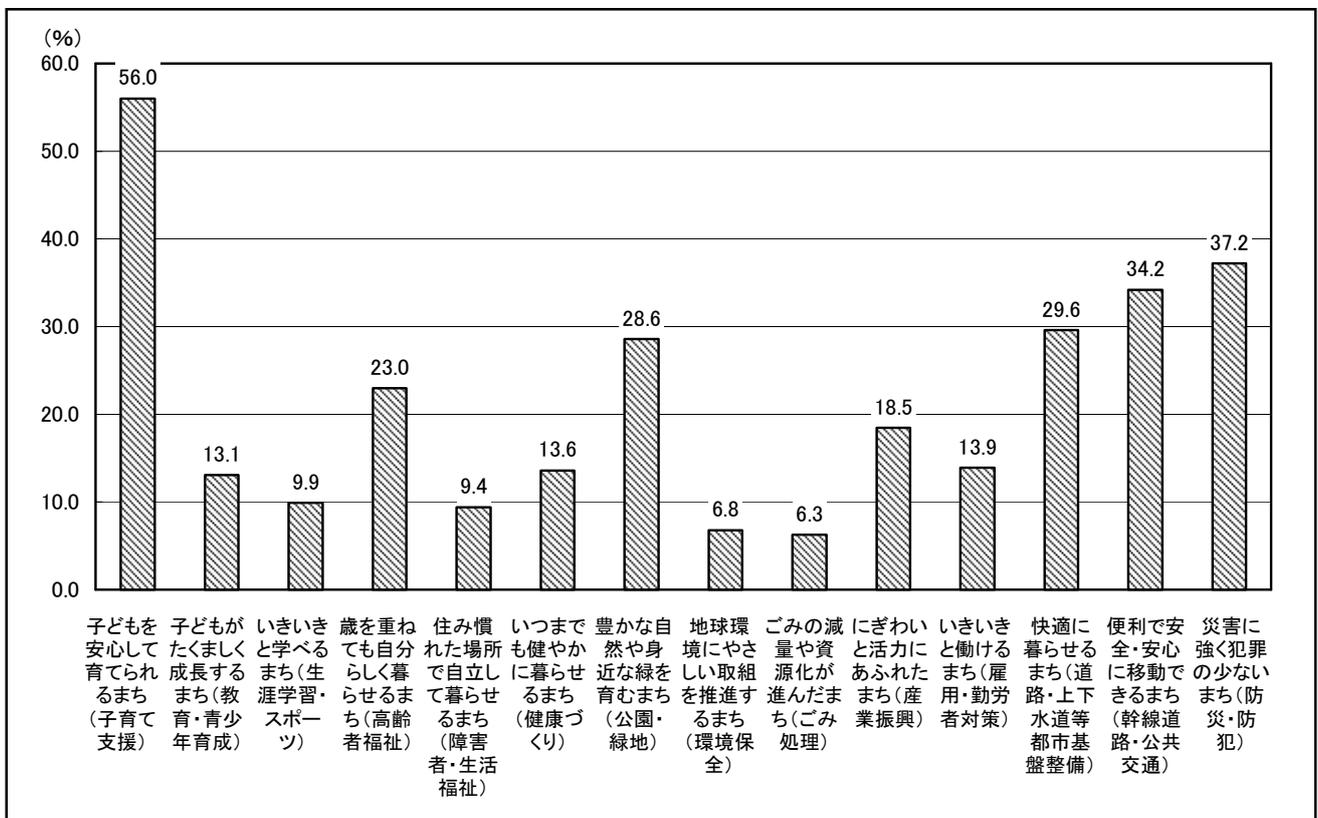


図 定住促進に向けたまちづくりのあり方（n=605）

○年齢別にみると、いずれの年代も「子どもを安心して育てられるまち（子育て支援）」が最も多く、また、第2位は20・40歳代では「災害に強く犯罪のないまち（防災・防犯）」、30歳代では「便利で安全・安心に移動できるまち（幹線道路・公共交通）」となっています。

表 【年齢別】定住促進に向けたまちづくりのあり方

	合計(人)	比率(%)													
		子どもを安心して育てられるまち(子育て支援)	子どもがたくましく成長するまち(教育・青少年育成)	いきいきと学べるまち(生涯学習・スポーツ)	歳を重ねても自分らしく暮らせるまち(高齢者福祉)	住み慣れた場所で自立して暮らせるまち(障害者・生活福祉)	いつでも健康やかに暮らせるまち(健康づくり)	豊かな自然や身近な緑を育むまち(公園・緑地)	地球環境にやさしい取組を推進するまち(環境保全)	ごみの減量や資源化が進んだまち(ごみ処理)	にぎわいと活力にあふれたまち(産業振興)	いきいきと働けるまち(雇用・勤労者対策)	快適に暮らせるまち(道路・上下水道等都市基盤整備)	便利で安全・安心に移動できるまち(幹線道路・公共交通)	災害に強く犯罪のないまち(防災・防犯)
20歳代	66	77.3	16.7	7.6	15.2	7.6	13.6	27.3	3.0	12.1	10.6	10.6	25.8	31.8	40.9
30歳代	324	61.4	13.6	10.8	22.5	9.3	11.1	28.4	5.6	4.3	19.8	16.4	26.2	35.5	35.2
40歳代	215	41.4	11.2	9.3	26.0	10.2	17.2	29.3	9.8	7.4	19.1	11.2	35.8	33.0	39.1
合計	605	56.0	13.1	9.9	23.0	9.4	13.6	28.6	6.8	6.3	18.5	13.9	29.6	34.2	37.2

○居住地別にみると、東京都・千葉県ともに、第1位は「子どもを安心して育てられるまち（子育て支援）」となっています。

○東京都では第2位が「災害に強く犯罪のないまち（防災・防犯）」、第3位が「便利で安全・安心に移動できるまち（幹線道路・公共交通）」となっています。また、千葉県では「快適に暮らせるまち（道路・上下水道等都市基盤）」が、「災害に強く犯罪のないまち（防災・防犯）」と同率の第2位となっています。

表 【居住地別】定住促進に向けたまちづくりのあり方

	合計(人)	比率(%)													
		子どもを安心して育てられるまち(子育て支援)	子どもがたくましく成長するまち(教育・青少年育成)	いきいきと学べるまち(生涯学習・スポーツ)	歳を重ねても自分らしく暮らせるまち(高齢者福祉)	住み慣れた場所で自立して暮らせるまち(障害者・生活福祉)	いつでも健康やかに暮らせるまち(健康づくり)	豊かな自然や身近な緑を育むまち(公園・緑地)	地球環境にやさしい取組を推進するまち(環境保全)	ごみの減量や資源化が進んだまち(ごみ処理)	にぎわいと活力にあふれたまち(産業振興)	いきいきと働けるまち(雇用・勤労者対策)	快適に暮らせるまち(道路・上下水道等都市基盤整備)	便利で安全・安心に移動できるまち(幹線道路・公共交通)	災害に強く犯罪のないまち(防災・防犯)
東京都	416	54.3	13.5	9.4	22.4	8.9	14.4	28.4	8.2	7.2	19.0	13.9	26.7	36.1	37.7
千葉県	189	59.8	12.2	11.1	24.3	10.6	11.6	29.1	3.7	4.2	17.5	13.8	36.0	30.2	36.0
合計	605	56.0	13.1	9.9	23.0	9.4	13.6	28.6	6.8	6.3	18.5	13.9	29.6	34.2	37.2

(6) 持ち家を購入する場合の参考情報の取得先（複数回答）

○持ち家を購入する場合、特に参考とする情報の取得先では、「インターネットの情報サイト」が89.9%で最も多く、「不動産情報誌」が64.3%でこれに次いでいます。

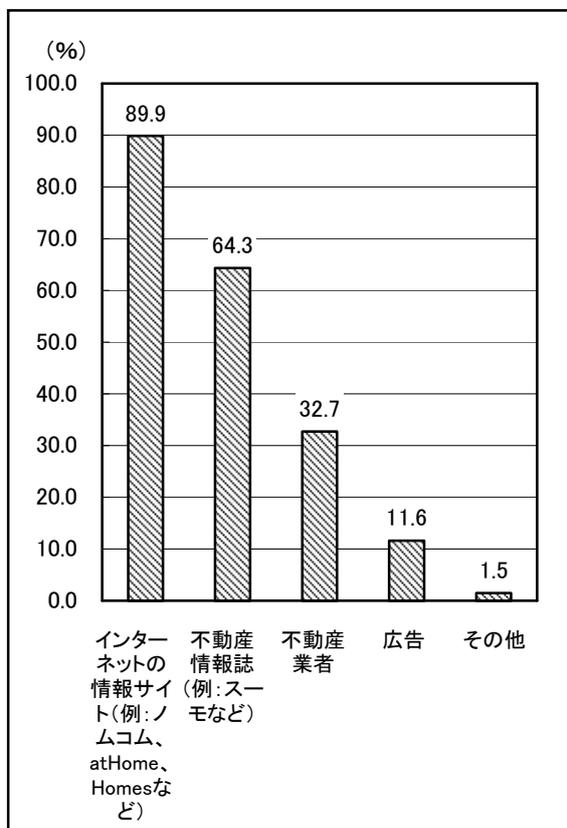


表 持ち家を購入する場合の参考情報の取得先

	回答 (件)
インターネットの情報サイト	544
不動産情報誌	389
不動産業者	198
広告	70
その他	9
合計	1,210

図 持ち家を購入する場合の参考情報の取得先 (n=605)